

徳之島町立井之川中学校

～ 諸田鍬踊りの伝承活動～



由来は昭和の集落や心の深さ身惜しむる。は初期に定着した農業の深さお。はっきに教えられた農業の深さお。きり家広めかかっては成功のお。分家とさかいては成功のお。から商人が行われているので、元々。ないが、踊る。また、農村に。大落よ。また、農村に。正で習うには「村の力と。時代ってな。青年の力と。末期、諸田の集落として。か田諸田の集落と骨で。

2008年から諸田の有志の皆さんの指導の下、鍬踊りを井之川校区の郷土芸能の継承を目的とし、文化祭（学習発表会）で生徒と職員が踊っている。諸田には保存会は存在していないが、鍬・カマ・衣装・チヂン・音楽CD等は区長が持ち回って保存している。学校では、総合的な学習の時間において、郷土伝統を体験・表現する学習を設定している。目的は、郷土に伝わる踊りについて、地域の方等から学び、自ら踊って体験的に表現すること、伝統を守り、継承することの大切さについて考えることができるようになることである。